

未利用材を活用した木質バイオマス発電による林業振興



発電施設の外観



未利用材をチップパーに運搬



未利用材のチップ

<概要>

- 事業実施主体：（株）グリーン発電会津^{あいづわかまつし}
（福島県会津若松市）
- 発電設備：木質バイオマス発電
発電出力 5,700kW
発電電力量 約4,134万kWh/年
- 燃料：木質バイオマス（約7割が未利用間伐材）
約6万トン/年
- 建設費：20億円
- 運転開始時期：平成24年7月

<特徴>

- 地域の未利用材（特に間伐材）を有効活用するため、同発電所を建設。
- 会津流域林業活性化センター※の協力により、周辺の山林から発生する未利用材を集荷・チップ化する燃料供給体制を構築。
- 山林未利用材の流通により、山主や林業事業者、森林組合へ利益を還元。
- 発電事業において地元に新規雇用（18人）を創出。
- 立地条件（原料確保の容易性、特別高圧線までの距離、水の確保、交通アクセス等）に合致する土地を取得。

※「会津流域林業活性化センター」は、国、県、市町村、森林組合、木材製材協同組合及び素材生産業者などにより構成。森林整備の促進と地域材の生産・加工・流通に至るまでの一体的な支援のための連絡調整などに取り組んでいる。